

協働学習 児童生徒実践型

実践タイトル タブレットPCで画像を見ながら奥行きを意識した絵を描く

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

・静止画に書き込みをしたり、拡大したりすることができるようにする。

静止画

・実際に絵を描く風景の静止画の上に書き込みをさせたり、自由に拡大させたりすることで、奥行きや細部を意識させる。

参考にしてほしいポイント

- ・静止画の上に線を記入させることで、形の見え方の違いや奥行きを意識させる。
- ・タブレットPCを見ながらグループで話し合わせることで、自分の考えを吟味させる。
- ・話し合いの結果を電子黒板で発表させることで、学級全体で考えを共有化させる。
- ・静止画を拡大させることで、情報を限定し、細部を丁寧に描かせるきっかけとする。
- ・これらの活動で分かったことを、実際の風景を見ながら絵を描くときに生かすようにする。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	・電子黒板に映した校舎の静止画
	5	
展開	5	・静止画を貼り付けたデジタルノート(写真1)
	25	
まとめ	25	・タブレットPCで開いた静止画(写真2)
	45	



写真1: 画面に書き込み、グループで話し合い



写真2: 細部のラフスケッチは静止画を自由に拡大して描く



写真3: 実際に外に出て風景を見ながら描き、完成した作品

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・今まではあまり考えたことのなかった、形の見え方の違い、奥行き、色の見え方の違いがあることを意識することができたので、工夫しながら描いていた。以前より上手に表現することができたので満足した様子であった。
- ・静止画を自由に拡大して描かせることで、児童は細部に意識を焦点化させ、集中して描いていた。

活用効果

評価の観点	・創造的な技能	具体的変容	・タブレットPCを使った話し合い活動をすることで、多くの児童が形の見え方の違い、奥行き、色の見え方の違いについて考え、実際の風景を見ながら、遠近感のある絵を描くことができるようになった。
-------	---------	-------	---

実践の手応え

- ・実際の風景を見ながら絵を描く活動では、意識させることが難しかった形や色の見え方の違い、絵の奥行きを、タブレットPCや電子黒板を活用することで、多くの児童に意識させ、工夫した絵を描かせるきっかけとなった。静止画の拡大機能は、細部に気をつけて表現を工夫する意識を持たせるのに大変有効だった。